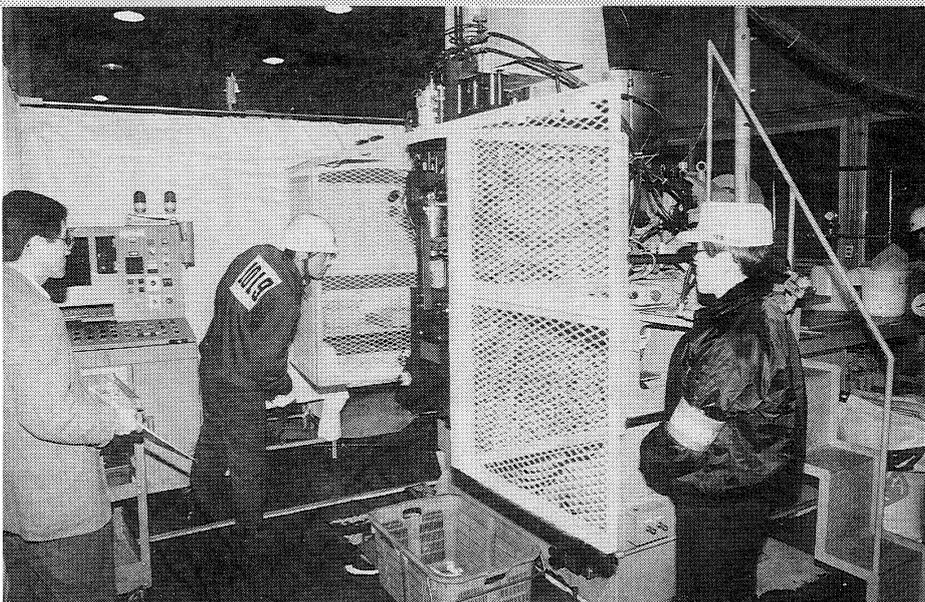


# 岐阜県の プラスチック

ISOシリーズの研修会開く・認証を得た3企業の事例発表  
—— ムトー精工・シーシーアイ・岐阜プラスチック工業  
新年度から容器包装リサイクル法が完全施行に入る  
工業組合のホームページ内容を更新・企業別紹介は19組合員  
事務局日より

組合員の工場で後期技能検定を実施。上は「成形用金型」下は「フロー成形」



# 避けられぬ環境マネジメント

## ISOシリーズの研修会を開催

### 認証を得た3企業の事例も発表

人材高度化支援事業を進めている岐阜県プラスチック工業組合は、2月25日と3月3日の2回にわけ、岐阜産業会館5階会議室で『国際規格ISOシリーズ研修会』を開催した。製品の品質向上を定めたISO9000シリーズ、企業の環境改善を定めたISO14000シリーズの2つの国際統一規格に、強い関心が高まっていることから実施した。

研修内容は両日とも岐阜県公衆衛生検査センターの堀部信好環境マネジメント審査部長が「環境マネジメントシステム」をテーマに講演を行った後、事例発表があった。事例発表は初日がムトー精工(株)とシーシーアイ(株)、2日目はムトー精工(株)と岐阜プラスチック工業(株)で、各企業の担当者はISO規格認証に取り組んだ貴重な体験を紹介した。

#### 国会に環境関連法案が 相次ぎ提案審議される

ISOシリーズの研修会は「容器包装リサイクル法の完全施行はもとより、今国会では廃棄物処理法、再生資源利用促進法（リサイクル法）の改正案のほか、新たに循環型社会基本法案など、環境関連法案が幾つも提出審議されており、もはや企業経営は環境マネジ

メントなくして成り立たない」と前置きした堀部審査部長の講演で始まった。

内容は①ISOとは②ISO14000とは③環境マネジメントシステムとは④環境マネジメントシステムの構築手順—などで、続いて事例発表があった。要旨は次のとおり。

#### 14001の認証取得企業は3,015社

《環境マネジメントについて》ISOは国際標準化機構の略で、1947年に設立され現在の参



人材高度化支援事業で開催したISOシリーズ研修会

加国は120カ国。規格の中にはフィルム感度のような「製品規格」と環境マネジメントや環境監査規格を定めた「経営管理組織や管理制度に関する規格」の2規格があり、後者にはISO9000とISO14000の2シリーズがある。

ISO9000シリーズは品質保証と品質システムに関する規格でISO9000シリーズは、ISO9000、ISO9001、ISO9002、ISO9003、ISO9004の5つの規格からなる。認証取得企業は全国で1万社を超える。

ISO14000シリーズは、環境に関する企業や団体の方針を定め、環境保全活動を継続的に実行していくシステムを定めた各種の規格。シリーズには、第三者認証機関による認証が取得できる14001を中心に14050まである。

14001の認証取得企業は全国で3,015社。岐阜県には45社、工業組合員ではカイインダストリーズ(株)とムトー精工(株)の2社である。また、環境審査登録認定機関は全国で23機関(岐阜県には財団法人・岐阜県公衆衛生検査センター環境マネジメント審査部)がある。

### 規格は5要素27の要求項目定める

ISO14000シリーズの中心、14001の規格は「環境方針」「計画」「実施および運用」「点検および是正措置」「経営層による見直し」の5要素、27項目の要求事項で構成される。

## 「もったいない」の意識をもってスタート

### ISO14001を認証取得したムトー精工(株)の場合

《事例発表＝ムトー精工(株)》事例発表はISO推進室の伊佐治和美さんと、常務で環境管理委員会の委員長を務める清生勝文さんの二人がそれぞれの立場から行った。

ムトー精工(株)はゲーム機、パソコン、ビデオカメラなどの電子機器や携帯電話、自動車関連のプラスチック部品を、金型設計から成形、加工、印刷、組立までを一貫生産している会社。

ISO14001導入のきっかけは①グリーン調達が顧客要求になってきた②企業のイメージアップとビジネスチャンスの拡大③産業廃棄物の削減④省電力、省資源など環境コストの低減でキックオフは99年3月。これまで取り組んだQC活動やISO9000シリーズの経験を生かし、10ヵ月間で認証を得た。

大役を果たした環境管理組織は、35人を各職

企業活動、製品づくり、サービスの各面で環境負荷を低減する環境パフォーマンスの改善を実施、しかも継続的に行う環境マネジメントシステムとして構築することを規定している。

### イメージアップやコストダウンへ

具体的には①環境保全に関する環境方針、目標、計画を定め②これを実行、記録し③その実行状況を点検し④システムを見直し改善する一というサイクルを構築し、このシステムを継続的に動かすことにより環境負荷の低減や事故の未然防止を行っていくことになる。

ISO14001を認証取得することによるメリットは①企業のイメージアップ②コストダウン③環境問題におけるリスク回避④経営基盤の安定⑤地域社会との良好な関係の維持一をあげることができる。(資料は工業組合事務局へ)

場から選出(全員が兼任)した省エネルギー、廃棄物、安全衛生、法規制・広報、環境影響評価の5専門部会と内部環境監査員からなり、部会ごとに環境実態調査やシステムの構築、運用に取り組んだ。

めざす環境方針は「取り組もう環境保全、大地の恵みを次世代へ」をスローガンとした。その環境方針に盛り込まれた4つの環境目標を数値でみると。省エネルギーでは「電力使用料をプラスチック原材料使用量比で、01年度までに98年度基準の6%削減」レスペーパーは「01年度までに、基準年度の10%削減」最重点である廃棄物の削減は「廃プラスチックは原材料使用量比で、01年度までに15%の削減。紙くずダンボールの廃棄量は、01年度までに50%削減」さらに環境汚染化学物質の削減・管理では「オゾン

層破壊物質は段階的に使用禁止し、キシレン、トルエンなど登録された削減対象物質の使用量は、01年度までに基準年度の30%~50%を削減する」とする厳しい内容であるが、すでに「初年度分の目標は達成している」という。

こうした環境保全への活動は2年度目に入り

環境管理委員長の清生常務は「導入メリットは大きく、何よりも会社全体の活性化につながることができ、経営改善のツールとなった。環境への取り組みは難しく考えず、ものを大切に、ムダ使いせず、全社が“もったいない”の意識ですすむこと」と話している。

## 品質に対する意識向上に貴重な役割果たす

### ISO9001を認証取得したシーシーアイ(株)の場合

《事例発表=シーシーアイ(株)》事例発表はISO9001認証取得への責任者・西本二郎専務が「認証取得まで1年間と短かったが、品質に対する意識向上に貴重な役割を果たし、品質保証体制が整った」と取り組み経過を話した。

同社は合成樹脂の成形部門をもつが、今回の規格（ISO9001、JIS Z 9901）取得は自動車用のブレーキ液、不凍液、ウインドウォッシャー液の開発・製造を行う化成品事業部（80人で組織）が対象で、96年5月にキックオフ。動機は①国際化に伴う体制づくり②顧客からの要請③品質保証システムの強化一にであった。

活動の円滑化を図って従来からの品質管理グループ（3人専任）を事務局とした各職場の課長を入れたワーキンググループ（19人）を組織し、毎月4回、コンサルタントによる指導を受けた。着手して3ヵ月後、企業理念である「変革、創意、知性」を折り込んだ品質マニュアルを作成、システムづくりを展開した。

この間、内部品質監査と改善を繰り返し、96年12月に日本規格協会の予備審査、97年3月に登録審査を受け、同5月に認証取得した。運用して3年「この間、品質マニュアルを7回改訂現在は簡素なものになっている」という。

## 各事業部門、工場ごとに認証取得に取り組む

### ISO9001を認証取得した岐阜プラスチック工業(株)の場合

《事例発表=岐阜プラスチック工業(株)》事例発表は、ISO事務局長の石原良さんが「97年9月に工業部品、塩ビ管継手の2部門がISO9001を認証取得し、いらい事業部門、工場ごとに拡大取得してきた。さらに今年3月末には、ISO14001の認証取得に向けてキックオフする」と国際規格取得への道のりを説明した。

同社の製造部門は工業部品、塩ビ管継手、産業資材、日用品の4事業部。工場は各務原市の生産本部を中心に5工場が全国に広がり、これにリスパックなどのグループ企業が加わる。

国際規格の取得は「継続的な品質保証を通し

て、企業の社会的責任を果たす」それには「業務の標準化を進め、責任と権限を明確にし、組織の活性化を図る」が目的。推進組織は標準化委員会を頂点に、ISO小委員会とISO事務局が主体。具体的な作業は各事業部、各工場の管理者、監督者で組織したワーキンググループが担当し、品質マニュアル、規定、手順書づくりなどと、幅広い活動を展開してきた。

これまでに3事業部門と福島工場、それにグループのリスパックがISO9901を認証取得し今年には群馬工場と日用品事業部が予定され、さらに地方工場へ拡大取得していく方針である。

## 「容器包装リサイクル法」が完全施行へ

# 紙とプラスチック製容器も 対象企業も中小規模事業者へ拡大

『容器包装リサイクル法』（通称＝容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律）は4月1日から完全実施される。容器包装廃棄物の減量化やリサイクルを推進するために実施されるもので、再商品化の対象品目や再商品化の義務を負う対象事業者は大幅に拡大する。

この完全実施で適用され、対応が迫られる工業組合員企業も多く、プラスチック成形加工業界は新たな事業展開が要請されている。

### 小規模事業者には適用されない

平成9年度に施行実施された『容器包装リサイクル法』はこれまでの3年間、大規模事業者を対象に「ガラス製容器」と「PETボトル」に限定し、リサイクル事業を実施してきた。

平成12年度からは再商品化の対象品目が「紙製容器包装」と「プラスチック製容器包装」へ拡大、さらに再商品化の義務を負う対象事業者も、これまでの大規模事業者に加えて中小規模事業者にも適用される。ただし、製造業では従業員20人以下で、かつ年間売上高総額2億4千

#### 【現在再商品化の義務の対象となっているもの】

|        |  |
|--------|--|
| ガラス製容器 | <p>●商品の容器のうち、主としてガラス製のもの（ほうけい酸ガラス製のものおよび乳白ガラス製のものを除く）であって、次に掲げるもの</p> <p>(1) 瓶／(2) カップ形の容器およびコップ／(3) 皿</p> <p>(4) (1) から(3) までに掲げるものに準ずる構造、形状等を有する容器</p> <p>(5) 容器の栓、ふた、キャップその他これらに類するもの</p> |
| PETボトル | <p>●商品の容器のうち、主としてポリエチレンテレフタレート製ののものであって、次に掲げるもののうち、飲料またはしょうゆを充てんするためのもの</p> <p>(1) 瓶</p> <p>(2) (1) に掲げるものに準ずる構造、形状等を有する容器</p>   |

#### ◎【平成12年度から再商品化の義務の対象となっているもの】

|             |  |
|-------------|--|
| 紙製容器包装      | <p>●商品の容器のうち、主として紙製ののものであって、次に掲げるもの（主として段ボール製のものと、飲料用紙容器は除く）</p> <p>(1) 箱およびケース／(2) カップ形の容器およびコップ／(3) 皿／(4) 袋</p> <p>(5) (1) から(4) までに掲げるものに準ずる構造、形状等を有する容器</p> <p>(6) 容器の栓、ふた、キャップその他これらに類するもの</p>  |
| プラスチック製容器包装 | <p>●商品の容器のうち、主としてプラスチック製ののものであって、次に掲げるもの（現在再商品化されているPETボトルは除く）</p> <p>(1) 箱およびケース／(2) 瓶／(3) たるおよびおけ／(4) カップ形の容器およびコップ／(5) 皿</p> <p>(6) くぼみを有するシート状の容器／(7) チューブ状の容器／(8) 袋</p> <p>(9) (1) から(8) までに掲げるものに準ずる構造、形状等を有する容器</p> <p>(10) 容器の栓、ふた、キャップその他これらに類するもの</p> <p>(11) 容器に入れられた商品の保護または固定のために、加工、当該容器への接着等がされ、当該容器の一部として使用される容器</p> |

万円以下の小規模事業者、卸・小売業・サービス業は従業員5人以下、資本金7千万円以下の小規模事業者は適用されない。

### 再商品化となる容器・包装の定義

平成12年度から再商品化の対象となる「プラスチック製容器包装」の定義は、前頁に掲げたとおりで①箱およびケース②びん③たるおよびおけ④カップ形の容器およびコップ⑤皿⑥くぼみを有するシート状の容器⑦チューブ状の容器⑧袋一と、それに準ずる構造、形状等を有する容器である。

さらに容器や栓、ふた、キャップ、その他これに準ずる容器、容器に入れられた商品の保護または固定のために加工、接着されたり、容器の一部として使用されている容器も対象。

### 容器・包装になるか否かの目安は

その容器や包装になるか否かの判断の目安は①容器または包装であること。社会通念上、容

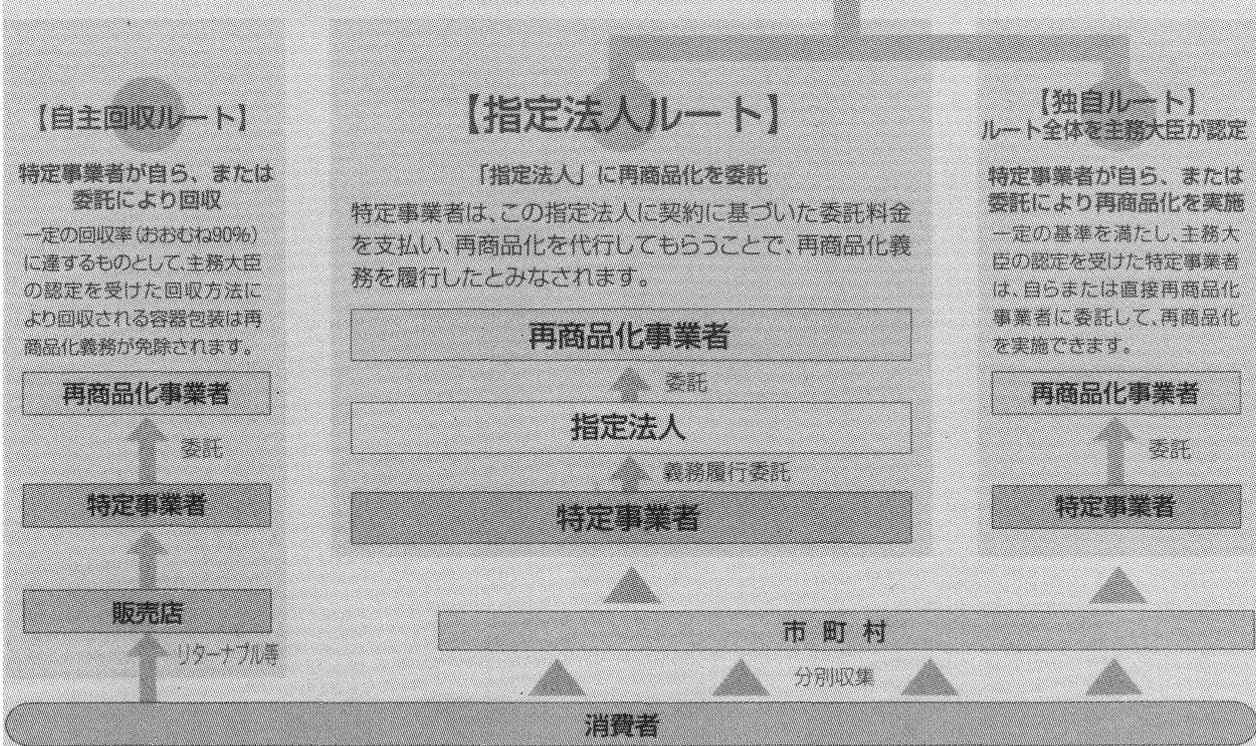
器・包装と考えられるものを含む②商品を入れているものや商品を包んでいるもの③中身の商品と分離した場合に不要となるもの一などとされる。

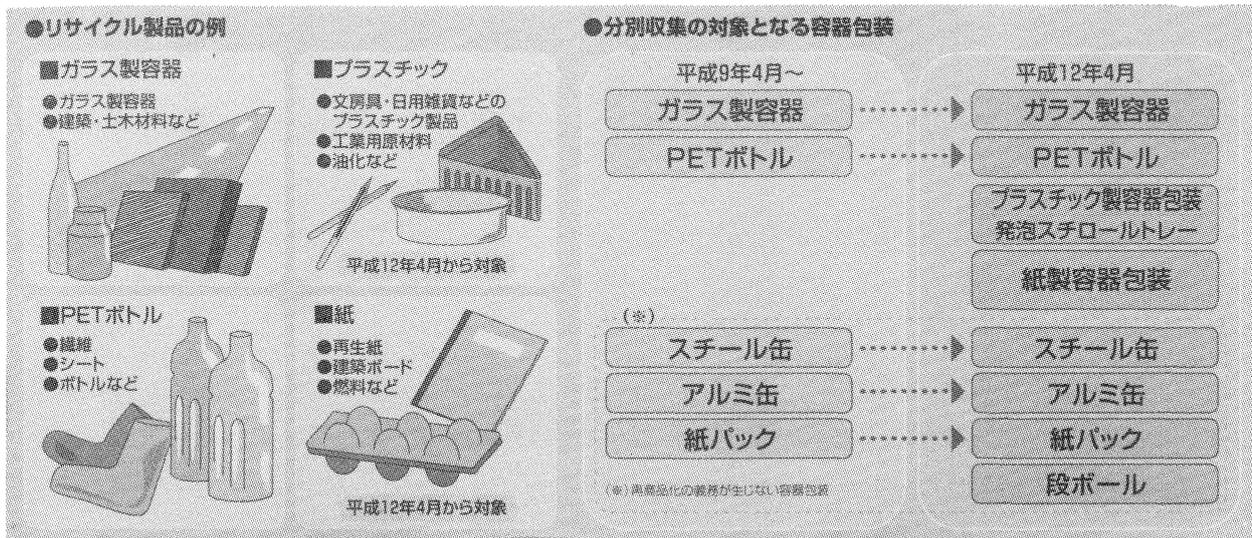
社会通念上、容器・包装と考えられるものとしては、容器の栓、ふた（カップラーメンのふたプリンのふた）キャップ（エアゾール缶のオーバーキャップ）シャンプーなどに付属するポンプや引き金のノズル、中ふた（液状の化粧品ボトルの中ふた）容器の口のシール（チューブ入りの調味料の口のシール）など、ふた、キャップをもつ容器や包装の一部であるものも対象になってくる。

### 役務の提供に伴うものは対象外に

また、商品の保護や固定のために使われるもの、ふたやトレイに準ずるものとしては、部品用の形枠、クレヨンケースの中敷き、発泡スチロール製の緩衝材、商品を包む柔らかいシート状およびネット状のもの、パックに入ったいち

## 分別基準適合物の再商品化義務（義務履行の方法は選択可）





この表層面やバターを覆ったフィルムなどのようにふたに準ずるもの、ワイシャツの形を保つ台紙が対象となる。

対象外としては①家庭でものを入れたり包んだ包装材など商品以外のものの容器・包装②クリーニングの袋、宅配便の容器や包装など役務の提供に伴う容器・包装③コンパクトディスクのケース、貴金属や万年筆の保護ケースなど不要にならないもの④消化器、人形ケースなど商品そのものの一部であるもの⑤発泡スチロールなどの緩衝材であっても、小型の緩衝材をたくさん詰めることで容器・包装と商品の空間を埋めているもの一がある。

### 再商品化（リサイクル）の方向は

法が示す『再商品化』（リサイクル）とは、具体的にどういうことなのか。市町村によって分別収集された容器包装廃棄物を、製品の原材料として利用したり、製品としてそのまま使用する者に、有償または無償で譲りわたす状態にすることである。

自ら製品の原材料として使用することや、そのまま製品として使用することも、再商品化にあたる。収集された容器包装廃棄物の再商品化の方法は、これまでガラス製容器はカレット化

など、またPETボトルはペレット化などであった。今回の完全施行で、プラスチック製容器、発泡スチロールを収集した後、プラスチック原料をはじめ油化、高炉還元、ガス化、コークス炉化学原料（検討中）への再商品化をめざすが、すでに一部施設が稼働し始めている。紙製容器包装は選別した後、製紙原料や建築ボード、古紙解繊物、さらに燃料化の方向をめざしている。

### 再商品化費用は特定事業者が分担

再商品化の義務を負う特定事業者は、製造業の場合、これまで従業員300人以下または資本金1億円以下の中小規模事業者は適用猶予され対象は大規模事業者に限られていた。

今回の完全施行では、適用猶予になっていた中小規模事業も対象になる。ただし、従業員20人以下で、かつ売上高総額2億4千万円以下の小規模企業は適用除外される。

これらの特定事業者は分別収集した容器包装廃棄物を、再商品化する義務を負う。義務の方法は左の図のとおり自主回収ルート、指定法人ルート、独自ルートの3方法がある。再商品化の義務量は、製造量や使用量によって算出され、特定事業者は費用を分担することになる。

# 工業組合のホームページ内容を更新

中央会の情報創造発信事業に参加・企業別紹介は19組合員に

工業組合は昨年3月、岐阜県中小企業団体中央会が進めている『中小企業情報創造発信強化支援事業』に参加し、インターネット向けのホームページを作成したが、その内容を今年度事業として更新した。企業別紹介では5企業増え、19組合員企業へと充実した。

## 組合員名簿や組合の活動を紹介

この事業は中小企業の情報受発信機能を強化し、インターネットを通じて企業に出会いの機会を拡大していくのがねらい。発信方法は『中

央会ホームページ』の中でリンクし、岐阜県のプラスチック業界を広く紹介していくのがねらいで、県プラのアドレスは

「kenpula@quartz.ocn.ne.jp」と

「http://www.chuokai-gifu.or.jp/kenpura/」

## 工業組合と組合員企業のメールとホームページのアドレス（平成12年3月現在）

|               |                             |  |
|---------------|-----------------------------|--|
| 工業組合事務局       | kenpula@quartz.ocn.ne.jp    | http://www.chuokai-gifu.or.jp/kenpura/                               |
| (有)アサヒ化成      | asa@lilac.ocn.ne.jp         | http://www.rd.mmtr.or.jp/~asa/                                       |
| アテナ工業(株)      | athena@chuokai-gifu.or.jp   |  |
| 大垣プラスチック工業(株) | ogaki-p@chuokai-gifu.or.jp  |  |
| カイインダストリーズ(株) | kai@chuokai-gifu.or.jp      | http://www.industry-gifu.jp/kougyo/200com/200kaii/200kaii.htm        |
| (株)川瀬樹脂工業     | sunthree@he.mirai.or.jp     | http://www.mirai.ne.jp/~sunthree/                                    |
| 岐阜産研工業(株)     | XLA06227@nifty.ne.jp        |  |
| 岐阜プラスチック工業(株) | jinji@risu.co.jp            | http://www.risu.co.jp/   |
| コダマ樹脂工業(株)    | kodama@chuokai-gifu.or.jp   |  |
| シーシーアイ(株)     | cci@chuokai-gifu.or.jp      | http://www.hitaku-gifu.or.jp/takumi/30com/30cci_/cci_op/cci_op.htm   |
| 信和工業          | shinwaco@ruby.ocn.ne.jp     |  |
| 西濃化成(株)       | seinou-k@chuokai-gifu.or.jp |  |
| 大朝理化学巧業(株)    | daicho@post0.mind.ne.jp     |  |
| 天龍工業(株)       | tenryu@hitaku-gifu.or.jp    | http://www.hitaku-gifu.or.jp/takumi/30com/30tnry/tnry_op/tnry_op.htm |
| (株)東海ポリエチ工業所  | tokaipol@chuokai-gifu.or.jp |  |
| 東北ムネカタ(株)岐阜工場 | masato_tgifu@munekata.co.jp | http://www.munekata.co.jp/   |
| 八幡化成(株)       | hachimam@chuokai-gifu.or.jp |  |
| パール化成(株)      | pearl@chuokai-gifu.or.jp    |  |
| (株)武藤化成工業所    | mutoh@chuokai-gifu.or.jp    |  |
| ムトー精工(株)      | kanri@muto.co.jp            | http://www.muto.co.jp/   |

で、すでにアクセスが始まっている。

更新したホームページのトップ画面は写真のように図案文字で『岐阜県プラスチック工業組合・七大産業に一翼を担う岐阜県のプラスチック』が映し出され、最初は「工業組合の概要紹介」で、組合事業の紹介、業界の現況、全組合員の事業所（企業名、住所、設備、成形品の内容）を紹介している。

最後にリンクするのは、支援事業で工業組合とともにホームページを作成した19組員企業を個別に①事業内容②主要設備③生産品目④ア



県プラホームページのトップ画面

ピールポイントなどを紹介した後、問い合わせやメールを受け付けるというもの。

## 6割がネットを利用、その4割にホームページ

—— 産業経済研究センターがインターネット利用で実態調査を行う ——

岐阜県産業経済研究センターは「岐阜県内におけるインターネット利用実態調査報告書」をまとめた。調査は昨年11月、2,956社を選んで39.7%を回収してまとめた結果で「8割の企業がメールやファイルの受発信利用」「その4割強の企業がホームページを開設」していることがわかった。次はその主な内容。

〈利用状況〉インターネットを「利用している」のは61.1%で「利用する予定」と答えた企業を加えると73.9%。概ね4分の3が利用し、従業員の規模が大きいほど割合が高かった。

利用していない理由は「必要性を感じない」が54.3%と過半数を占め「経営上の効果が期待できない」が34.0%だった。残るは「利用できる人材がない」「内容がわからない」。

〈利用開始（予定）の時期は〉利用または利用予定の企業に開始時期を聞くと「98年（平成10年）」が23.5%で、もっとも多かった。これに「99年」「97年」と続き、この3年間で74.6%、全体の4分の3を占めた。

〈接続形態〉8割が「商用プロバイダー」で「自社サーバー」は13.5%。プロバイダーは①

OCN②@nifty③ミライネット④中部コンピュータ⑤BIGLOBEの順。

〈初期費用と回線〉初期費用は「5～10万円未満」が多い。接続回線はやはり「ISDN」で64.4%。次いで「一般回線」「専用回線」の順。運用コストは1ヵ月当たり「1万円」未満が4割を占めた。

〈利用の目的〉「メールやファイルの受信」が全体の8割を超え「他社の情報入手」や「国内外の情報入手」も多かった。発信も「メールやファイルの発信」が8割占め「自社のPR」で「電子商取引」や「人材募集」への利用はまだ定着していないようだ。

〈ホームページ開設状況〉利用企業の半数に満たない41.8%。業種別には建設業の開設割合が低く、地域別には中濃地域がやや低かった。

〈開設の効果〉3分の1の企業が「企業のイメージアップに効果」「営業の問い合わせ」と答え「日が浅く効果がわからぬ」も多かった。

〈電子メールの効果〉電子メールの交換先は7割以上が「取引先」で続いて「関連会社」。利用効果は「情報交換が簡単」が多かった。

## 後期技能検定試験

### 組合員の工場で実施

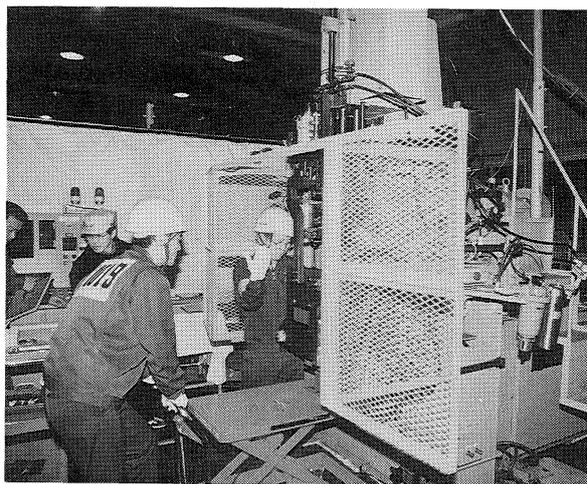
「成形用金型」と「ブロー成形」

工業組合は県能力開発協会から「プラスチック成形用金型作業」と「ブロー成形作業」の技能検定実技試験を受託、実施した。いずれも平成11年度後期の検定試験で、2検定とも組合員企業の工場施設を使って行われた。



#### ムトー精工(株)で成形用金型の検定

成形用金型作業は、昨年末12月18日と25日の2日間、各務原市にあるムトー精工(株)本社金型工場で実施した。受検者は1級3人、2級4人の7人。検定内容は1級が「成形用金型に必要なテーパ加工、R加工、溝加工の作業要素を盛り込んだ課題を、立フライス盤の手動操作と手加工で、4時間30分以内に製作する」2級は「成形用金型に必要なR加工、溝加工の作業要素を盛り込んだ課題を、立フライス盤の手動操作と手加工で、4時間以内に製作する」。



「金型」(上)「ブロー」(下)の実技検定会場  
定内容は「2種類の熱可塑性樹脂を用い、ブロー成形によりボトルを2時間30分以内に製作する」もので、緊張の連続だった。

#### コダマ樹脂(株)でブロー成形の検定

また、ブロー成形作業は、2月1日から10日間、神戸町末守にあるコダマ樹脂工業(株)の本社ブロー工場で行った。受検者は2級19人、検

なお、2月の合同学科試験に続いて3月24日には合格発表が行われ、金型は1級2人、2級2人、ブローでは2級15人が合格した。

ポリエチレン

**スミカセン**<sup>®</sup>

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

**エバテート**<sup>®</sup>

ポリプロピレン

**住友ノーブレン**<sup>®</sup>

ポリスチレン樹脂

**エスプライト**

塩化ビニル樹脂

**スミリット**<sup>®</sup>

メタアクリルシート

**スミペックス**<sup>®</sup>

メタアクリル樹脂

**スミペックス-B**<sup>®</sup>

高密度ポリエチレン

**スミカセンハード**

熱可塑性エラストマー

**住友TPE**<sup>®</sup>

合成ゴムSBR

**住友SBR**<sup>®</sup>

合成ゴムEPR

**エスプレン**<sup>®</sup>

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

**スミグラフト**<sup>®</sup>



# 住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

## 事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□新年度総会は5月25日に行います□

工業組合の平成12年度事業計画などを審議する『第32回通常総会』は、5月25日（木）午後2時30分から、岐阜市内のホテルグランヴェール岐山で開催することになりました。開催のご案内は改めて行いますが、記念講演会もありますので、多数のご出席をお願いします。

総会で審議される事業計画や予算案は、3月23日と4月27日、県民ふれあい会館で開く理事会で議案としてまとめ、総会に提出する予定です。総会当日は午後2時から役員会、2時30分から総会、3時30分から記念講演、5時10分からパーティーを開催予定しております。

講演のテーマは「2000年のアジア樹脂市場動向」で、講師は日本ポリケム(株)ポリオレフィン

事業本部営業統括GMの松岡久晴氏で、樹脂原料の最新動向について話してもらいます。

□射出成形技能検定の受検者の募集□

『平成12年度前期・プラスチック射出成形技能検定』の実施内容が決まり、工業組合事務局は受検希望者を募集しています。職業能力開発協会への受検申請日が迫っており、早急にご連絡ください。実技検定試験は6月～8月、学科試験は8月27日、合格発表は10月6日です。

### 岐阜県のプラスチック 2000 152号

平成12年3月30日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号  
(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

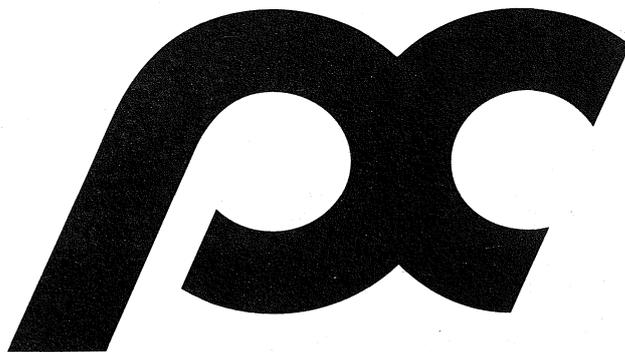
FAX (058) 276-1525

### 岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 高坂 貞夫

# 創世ポリケム・パワー

質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニー



三菱化学と東燃化学との創造的な出会いから生まれたポリケムは、平成8年9月、質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニーをめざしスタートしました。ポリオレフィン樹脂のスペシャリストとして、国内では最大、世界でも有数の規模を誇るポリケムは、四日市・川崎・水島の3技術センターのそれぞれの特長を活かし、多種・多様で高品質のポリケム・バリューをお届けしてまいります。

技術と信頼の証 **ノバテック**  
NOVATEC

NOVAは「新星」。  
ポリケムは、常に先進の技術革新に取り組み、最新・  
最良の品質のポリオレフィン樹脂「ノバテック  
(NOVATEC)」をお届けします。

|                 |          |
|-----------------|----------|
| 高密度ポリエチレン       | ノバテックHD  |
| 低密度ポリエチレン       | ノバテックLD  |
| 直鎖状低密度ポリエチレン    | ノバテックLL  |
| 直鎖状低密度ポリエチレン    | ノバテックC6  |
| エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂 | ノバテックEVA |
| ポリプロピレン         | ノバテックPP  |

 日本ポリケム株式会社

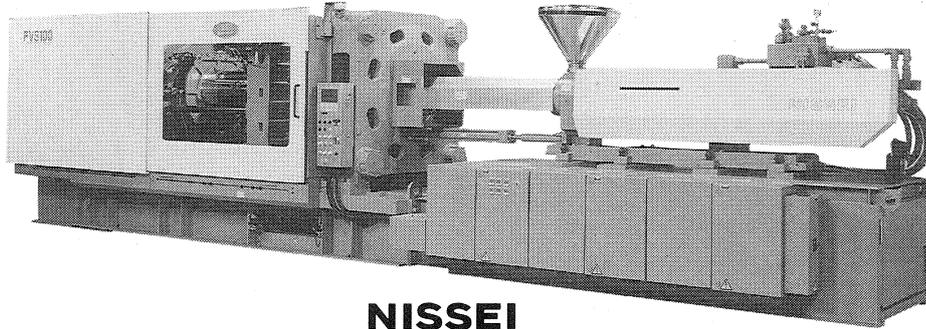
東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル 千100  
TEL 03-3287-8010 FAX 03-3287-8040

# 時代を創る 時代に答える

私たちNISSEIは、射出成形機の専門メーカーとして、プラスチック成形技術の開発に努めてきました。成形機を中心に金型・生産システムなど、技術の幅を広げ、国内トップメーカーとして業界をリードしています。プラスチックの活用はますます裾野を広げる中、プラスチック応用技術を通して、活力ある産業社会、心豊かな生活文化の創造に貢献しています。「人と暮らしに役立つ、新しいモノづくり」これが私たちの恒久のテーマです。

新たな発想で生まれた高性能・低価格大型機

## FVシリーズ (FV9000, 9100, 9200, 9400)



### NISSEI

## 日精樹脂工業株式会社

■名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀2-167 ☎ (0568) 75-9555(代)

■岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎ (0564) 52-1430 ■三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎ (059) 224-0716

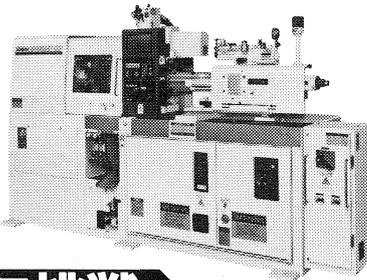
■本社・工場・研究開発センター / 長野県坂城町南条2110 ☎ (0268) 82-3000(大代表)

■東京事務所 ■テクニカルセンター / 本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪 ■営業所 / 全国11カ所 / 出張所 / 全国19カ所 ■海外サービスステーション / 28カ所

● <http://www.nisseijushi.co.jp>

# MEIKI

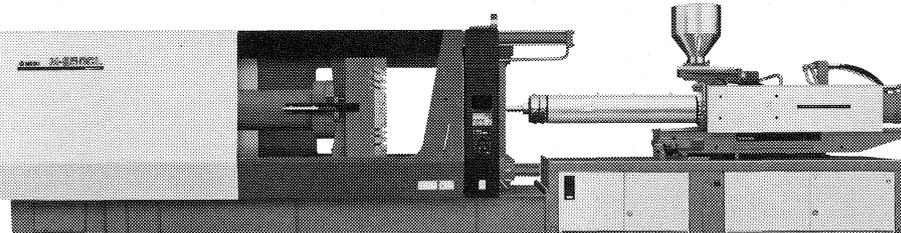
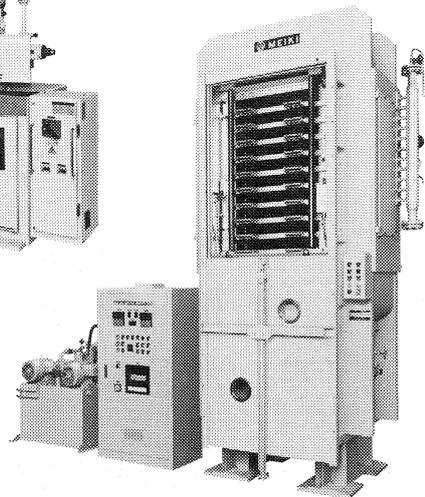
DVD専用機



## ハイテクノロジーに挑戦

プラスチック、光ディスク (DVD) 射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。

IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機

 株式会社 名機製作所

本社・工場 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎ <0562> 48-2111(代)  
 中部支店 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎ <0562> 47-2391(代)  
 岐阜出張所 〒501-61 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 ☎ <058> 247-2674

# 化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

## 三菱化学

▲三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 千100(三菱ビルディング) Telephone: 03-3283-6274(ダイヤルイン)

# ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

# P.V.C.

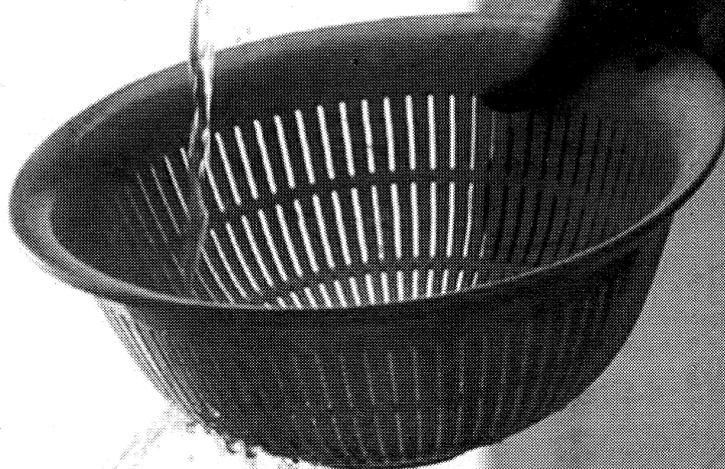
信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)  
☎(052)581-0651

くらしのこだわり...

**HOME &  
HOME**

-RISU BASIC-

**リス**  
croissant®



## より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リスは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

### キッチンウエア 3つのPoint

ポイント  
**2**

#### 洗い易いかたち

余分な凹凸を無くし、洗浄がラクラク

ポイント  
**1**

#### 汚れ防止加工

台所の汚れが付きにくく落ちやすい  
特殊加工の素材を使用しています

ポイント  
**3**

#### 抗菌 めめり防止加工

半永久効果持続、無機系抗菌剤だから安心

**リス株式会社**

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目25番地  
TEL：<058>265-2233

●リスパック株式会社 ●リスエンジニアリング株式会社  
●リス株式会社  
●リス興業株式会社